令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学校名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立穂積小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立穂積小学校	https://edu-mizuho.com/hosyo/20220419_3584/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立穂積小学校	https://edu-mizuho.com/hosyo/page-3405/	https://edu-mizuho.com/hosyo/page-3405/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
 一部、計画通り実施できていない
 ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
 実施していない

<特記事項> なし

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は児童生徒を含む外国人が年々増加傾向となっている瑞穂市において、文化や言語の違いを乗り越えてどの児童もグローバルな視点を持ち、互いを尊重し合えるよう低学年の早い時期から外国語活動・外国語科の教育を行うものである。

実際、本校では外国につながりがある児童が60名在籍しているが、外国語活動や外国語科を通して異文化に対する理解が深まっていることから、どの子も互いを尊重し合いながら生活することができている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

早い時期から外国語活動・外国語科の教育を行うことで、英語を聞いたり、話したりすることへの抵抗がない児童が多く、英語を通して、自分の思いを積極的に伝えようとする態度が養われてきている。外国語活動・外国語科の学習で大切にしているコミュニケーションマナー（相手に聞こえる声の大きさとスピードで話す、必要に応じてジェスチャーを使う、相手の話を聞いて反応するなど）は、どの授業でも大切にしており、相手意識を大切に話す力を伸ばすことにつながっている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

早い時期からの外国語活動・外国語科の教育により、「英語嫌い」の児童を生み出すことにならないよう、ALTとの連携を密に図り、児童が楽しいと感じることのできる活動を設定していく。

また、専科教員が専門性を発揮し、どの教員も使用できるクラスルーム・イングリッシュや適切な評価の在り方を校内で広め、教員の指導力を高めていく。